

昭和61年
8月5日

第 4 3 号

発行 守 谷 町 議 会
編 集 守 谷 町 議 会 事 務 局
TEL 02974⑤1111(内56)
茨城県北相馬郡守谷町大字守谷
甲631~1

もりやまち

議会だより

もくじ

- ①ページ 議決された内容
②ページ 一般質問
③ページ 一般質問
④ページ 請願・陳情ほか



7月26日 八坂神社祭礼にて

補正予算・条例改正など可決
第2回定例会

昭和六十一年守谷町議会第二回定例会が、六月十三日から二十日まで、八日間の会期で開かれました。
初日の本会議で全議案が上程され、二日目の質疑を経て各常任委員会に付託されました。さらに、十七日と十九日には五名の議員により一般質問が行われました。
今回の定例会には、報告事項二件と条例の改正など議案十件が町長から提出され、いずれも原案どおり可決されました。

(昭和60年度) 土地開発公社の事業概要

- (1) 土地の処分
福祉センター建設用地として、3,336㎡を1億384万9680円で守谷町に売却した。
- (2) 会 計
- | | |
|--------|--|
| ① 借入金 | 2,490万円 |
| ② 償還金 | 元金償還金 7,590万円
利息支払金 5,290万9360円
(借入元金期末残高 6億8,700万円) |
| ③ 出資金 | 資本金 500万円 |
| ④ 町交付金 | 20万円(公社運営費補助金) |

(昭和61年度) 土地開発公社事業計画の概要

- (1) 土地売却計画
公共用地売却 9筆 4,564㎡ 1億4,999万5,000円
- (2) 事業資金計画
- | | |
|----------|----------------|
| ＜収 入＞ | |
| 事業収入 | 1億4,999万5,000円 |
| 借入金 | 1,750万円 |
| 繰越金 | 36万4,000円 |
| 事業外収入 | 24万1,000円 |
| 収入合計 | 1億6,810万円 |
| ＜支 出＞ | |
| 借入金元利支払金 | 1億6,766万8,000円 |
| 業務費 | 14万5,000円 |
| 予備費 | 28万7,000円 |
| 支出合計 | 1億6,810万円 |

報告事項

- ・昭和六十一年度守谷町土地開発公社決算等について
守谷町土地開発公社から提出された決算書及び事業報告書について町長から議会に報告されたもの。
- ・昭和六十一年度守谷町土地開発公社事業計画等について
昭和六十一年度の事業計画及び予算について町長から報告されたもの。

第2回定例会の
議決内容

条例改正

- ・職務に専念する義務の特例に関する条例
町職員が土地開発公社の事務に従事する場合、任命権者の承認を得て職務に専念する義務を免除されることのできるものとした。
- ・守谷町税条例
八月から新たに第三土曜日と十二月二十九日(三十一日が金融機関の休業日になることに伴い、法人税の申告基準日、納期等を変更することが主なもの。
- ・守谷町隣保館の設置及び管理に関する条例
北守谷土地地区画整理事業に伴い、所在地の町名、地番が変更されたことによるもの。
- ・守谷町立学校設置条例
北守谷土地地区画整理事業に伴い、御所ヶ丘小学校及び御所ヶ丘中学校の所在地の町名、地番が変更されたことによるもの。
- ・守谷町自転車駐車場設置及び管理に関する条例
北守谷土地地区画整理事業に伴い、所在地の町名、地番が変更されたことによるもの。
- ・稲北地方病舎組合規約
組合の構成団体である「牛久町」が「牛久市」になったこと、並びに隔離病舎の所在地が、土地地区画整理事業により地番変更されたことによるもの。

補正予算

- ・昭和六十一年度一般会計補正予算
市街地整備基本計画策定委託料が、六十一年度八百万円、六十二年五百万円と継続費として設定され、本年度当初予算の一千万円から二百万円を減額。その他、児童館建設費五千五百四十九万五千円、農業振興費七百万円、北守谷運動広場(調節池)管理委託料四百十万円、住宅費二千六百十六万三千円、教育指導主事設置に伴う教育研究指導費七百六十五万円など。

財産取得

- ・公共用地
所在地 新町裏甲二三八番地外八筆
面積 四、五六四平方メートル
買収価格 一億四千九百九十九万五千八百六十円
買収相手方 守谷町土地開発公社





—町民と共に考える行政—

一 般 質 問

5 名登壇

6月17・19日

(要旨)

第二回定例会における一般質問は、去る六月十七日と十九日に行われました。今回の通告者は、浅野議員、中村議員、松本議員、西巻議員、岡田議員の五名で、町行政の諸問題について熱のこもった質問が行われました。

常磐新線とまちづくりについて

浅野 進議員

浅野議員 常磐新線の建設に伴うまちづくりには、ターミナル駅の位置づけ、道路網の整備、さらには財政負担の問題などがあり、総合的な計画が必要となってくるが、今日までのまちづくりに関する協議の経過を伺いたい。

助役 町としては機構改革により積極的にまちづくりに取り組んでおり、さらに課長補佐クラスによる勉強会も実施している。

また、建設省、運輸省、国鉄、公団、県、町、学識経験者からなる「守谷ターミナルとまちづくり懇談会」において、コンサルタントの調査をもとに検討を重ねており、今後は最終的な結論を出して、その実現に向けた「まちづくり協議会」に移行したいと考えている。いずれにしても、まちづく

工業団地

浅野議員 公団施行による工業団地計画(野木崎・大木地区)について、その後の経過を伺いたい。

企画課長 公団の新規事業については、国の行政改革のもとに非常に難しい状況になっているが、公団の首都圏宅地開発本部では、守谷町の工業団地計画については別枠で考えているとのことである。しかし、今後、



新線建設促進を呼びかけて立てられている看板(南守谷)

土地開発公社の事業の見直しをせよ

中村 力議員

計画の実施に向けた住民の意向調査を進めるには、公団本社の了解が必要とのことであり、町は県に対して側面からの援助を要望している。

浅野議員 ①工業専用地区の整備について進捗状況を伺いたい。②また、すでに立地されている企業から町の方に陳情が出されたとのことだが、その内容を伺いたい。

町長 ①工業専用地区の整備は継続事業として着々と進んでおり、特に道路関係の整備が主であるので、今後とも地権者の協力を得ながら整備を図っていききたい。

建設課長 ②キリンビール工場付近の道路を舗装してほしいとの申し入れがあった。しかし、当地区は雨水排水の流末が整備されておらず、舗装工事が進められない状況であるので、今後はこの排水計画を関係各課で協議し、できるだけ早く整備できるよう進めていきたい。

中村議員 土地開発公社は、銀行から低金利で資金を借り受け、下ケ戸や新町裏等の公共用地を先行取得し、町はそれを年次計画で買収している。しかし開発公社における保有期間が長期にわたり、そのかさんだ金利は一般会計で賄われているのである。そこで、先行取得した土地の庁舎や福祉会館、あるいは町民会館等への使用目的を早く明確にし、開発公社の効率的な運用を図るべきだと考えるがどうか。

町長 地価は流動性があり、特に今までは、高度成長に伴う土地の値上りが激しかったために、あらかじめ用地を取得しておき、必要な時に施設を建設するという意味で開発公社の運用をしてきた。

なお、土地利用について特に庁舎建設については、すでに調査費を組み、庁舎建設委員も委嘱してあるもので、これから一歩ずつ進めていきたい。福祉会館、町民会館等への有効な土地利用については、常磐新線の

国保会計の健全化をはかれ

松本明子議員

松本議員 国民健康保険会計の現状を伺いたい。

保険衛生課長 国保会計は、退職者医療制度の対象者数が国の見込みを大幅に下回ったことや、老人保健拠出金の増加により大変厳しくなっており、本年度予算においても、四千百万円もの基金取り崩しを行うなど、非常に深刻な状態となっている。

松本議員 国保会計の赤字の原因としては、老人医療の有料化に伴い、早期治療が遅れて医療費がかさみ、老人保健会計への拠出金が大幅に増えたことや、退職者医療制度の導入などが考えられる。この赤字を償うために国保税を引き上げるようなことがあれば、不納額、収入未済額が増え、国保会計をさらに圧迫する結果になると思う。よって増税することなく、国の政策によって生じたこれらの赤字を国の責任において補てんするよう政府に強く働きかけてもらいたい。

町長 現在、国保財政については国家的な問題となっており、全国の町村会等により国に対して健全な国保財政をめざした制度の見直しを要求している。しかし、国としても厳しい状況であり、国保税の見直しも考えなければならぬ時期にきていると思うが、今後も国に対して、強く要求を続けていきたい。

松本議員 国保税の未納者に保険証を交付しないという国の方針が打ち出されているが、この弱い者いじめの制度をどう考えるか。

幼児教育

松本議員 公団は、北団地内の幼稚園用地払い下げの公募に応じた二つの幼稚園のうち一園を指名したが、この選定にあたっては、守谷町としての調査はされなかった。しかし、幼稚園は守谷町の子供の幼児教育を任せる大事な施設であるので、町は町としての独自の調査をすべきであり、そのためにはしっかりと幼児施設設置基準を設けてもらいたい。

教育課長 今後は、施設設置希望者の経験年数、実績、運営方針、学級編成、職員構成、その他いろいろな角度から設置基準を検討したいと考えている。

松本議員 先般、



産業廃棄物による埋立

産業廃棄物

松本議員 最近、当町においても産業廃棄物の不法投棄が目立ってきているので、地権者に対して、産業廃棄物に関する十分な行政指導をお願いしたい。

町長 産業廃棄物を運んでくる業者は、地権者の承諾を得て投棄していくわけなので、地権者に対して、業者の話ののってしまっているのを貸さないようPRしている。

一般質問とは

議員は、町の仕事すべてにわたって質問し、町長などの執行機関に説明を求めたり、所信をただしたりすることがあります。これを「一般質問」といいます。議員は質問を通して、町民の意向を町政に反映させ

たり、仕事のしかたなどについての具体的な提案をしていきます。

したがって質問は、執行機関に対する議会の監視・監督権の一つの手段であると言えます。つまり、町政の問題点を指摘し、執行機関の姿勢などをただすことによって、議員は町政のチェックができるわけです。

住民検診の 日曜、祭日、夜間の実施を

西巻健治議員

西巻議員 町で行われている結核、成人病等の健康診断について、夜間や日曜、祭日の実施を検討してもらえないか。

保険衛生課長 住民検診は、全県下の市町村で総合検診協会に委託し、検診車の配車を願って実施している。守谷町においては、年間二十日程度、地区別に実施しており、昨年度は日曜日でも特別に一日だけ配車いただき実施することができた。今後、さらに日曜、祭日等の検診日を増やすためには、検診車の配車の問題がネックになってくるが、可能な限り努力はしていきたい。

幼稚園開設について

西巻議員 公団は、北団地内の幼稚園用地払い下げの公募に応じた二つの幼稚園のうち一園を指名したが、その後、指名されなかった地元の幼稚園設置希望者から、民有地を取得して開設したい旨の設置計画書が教育委員会に提出され、さらに地元住民からは、公団の公募に応じた二つの幼稚園の教育内容をしっかり調査してほしい旨の陳情書が出された。にもかかわらず町の諮問機関である幼児施設設置協議会では、これらの

設置計画書、陳情書については審議されなかったとのことであるが、その理由を伺いたい。

教育長 公団内の幼稚園用地は、土地利用計画のもとに適地として指定してあるもので、これを変更することは好ましくない。また、幼児施設設置協議会への諮問内容は、北団地に指定してある七つの幼稚園用地のうちの一つを分譲し幼稚園を開設すべきかどうかというものであり、民有地への設置計画については審議しなかった。

教育内容の調査については、県に伺ったところ両園ともに私立としての建学の精神をもっており、さらに学校教育法に基づいて教育計画を立てているので、立派にやっているとみなされるところである。

青少年問題

西巻議員 青少年の健全育成のためには、子供の成長に対応した「しつけ」、特に人間形成の基礎づくりをする時期の、けじめのある「しつけ」が非常に大切であると思うがどうか。

教育長 子供は小さいときほどしつけやすく、家庭において「しつけ」の大切さを十分認識し実行していただきたい。また、県においても、今年度は生徒指導ハンドブックを作成するなど、心の教育、しつけについて力を入れており、各学校とも、このハンドブックを活用し、研究しながら教育にあたっている。

西巻議員 学校と家庭には、それぞれ教育の役割があり、学校でできないものを家庭で補い、家庭でできないものを学校で補うという相互補完の教育が必要であると思うがどうか。



一般住民健康診断

教育長 小学一年生の父兄及び中学一年生の父兄を対象とした家庭教育学級を毎月一回実施している。私も可能な限り出席し、学校でできないものを家庭で補っていたかどうかを願っている。

町長の政治姿勢と 重点施策の推進について問う

岡田光雄議員

岡田議員 町長の任期は、来る九月二十三日をもって満了となるわけだが、次期町長選挙への出馬の有無について伺いたい。

町長 現在の守谷町は、住宅団地の熟成化、工業団地の造成、稲戸井調節池、庁舎建設、常磐新線等、数々の問題が山積しており、これから行政の正念場である。今後、任期満了となるまで、これらの問題解決に向けて最善を尽くし、次期には新たな決意をもって、引き続き努力していく所存であり、可能な限り立候補したいと考えている。

岡田議員 今後の庁舎建設計画を伺いたい。

助役 まだ具体的な計画はしていないが、年度内には具体化していきたい。

岡田議員 守谷中学校の増築について、教育に支障を来さぬよう夏休み中の工事着工をお願いしたい。

教育長 主な工事内容は、生徒指導室、保健室、図書



増築が待たれる守中学校舎

非行に走った子供の閉じこめられた心を開く作業をしているが、当町でも、このような組織づくりを検討してもらいたい。

教育長 守谷町では福祉課が中心となり、青少年問題協議会を組織しており、色んな分野の人の意見を聞きながら問題解決の指導にあたり、今後も強力に進めていきたい。

岡田議員 常磐新線を軸としたまちづくりを促進する意味で、市街地整備基本計画策定費と常磐新線等建設促進事業の予算が計上されているが、これらの事業について今後の進め方を伺いたい。

岡田議員 市街地整備基本計画策定費については、二か年の継続事業であり、本年度は、都市計画区域の線引き、整備の手法、資金計画、整備のスケジュール等、まちづくりの基本的な構想をねって、来年度に具体的な策定作業を進めたいと考えている。

常磐新線等建設促進事業については、県内に整備促進期同盟会が組織されており、本年度は、下妻までの関東鉄道関係の影響調査を進めている。また、新線沿線の関係自治体による連絡協議会において、自治体間の連絡調整をしながら、整備促進を図っていききたい。

岡田議員 常磐新線守谷ターミナル駅の建設に伴い、駅前広場や駐車場、自転車置き場などの整備が必要になってくるが、この駅前広場等の整備について、常磐新線の事業主体と町との役割分担をどのように考えているか。また、整備後の管理運営については、事業主体との利害調整をどのように図っていくのか。

常磐新線

岡田議員 常磐新線を軸としたまちづくりを促進する意味で、市街地整備基本計画策定費と常磐新線等建設促進事業の予算が計上されているが、これらの事業について今後の進め方を伺いたい。

岡田議員 市街地整備基本計画策定費については、二か年の継続事業であり、本年度は、都市計画区域の線引き、整備の手法、資金計画、整備のスケジュール等、まちづくりの基本的な構想をねって、来年度に具体的な策定作業を進めたいと考えている。

常磐新線等建設促進事業については、県内に整備促進期同盟会が組織されており、本年度は、下妻までの関東鉄道関係の影響調査を進めている。また、新線沿線の関係自治体による連絡協議会において、自治体間の連絡調整をしながら、整備促進を図っていききたい。

岡田議員 常磐新線守谷ターミナル駅の建設に伴い、駅前広場や駐車場、自転車置き場などの整備が必要になってくるが、この駅前広場等の整備について、常磐新線の事業主体と町との役割分担をどのように考えているか。また、整備後の管理運営については、事業主体との利害調整をどのように図っていくのか。

稲戸井調節池

岡田議員 稲戸井調節池総合開発事業について、その後の経過を伺いたい。

助役 六月六日に竹内知事が来町した際、稲戸井調節池開発事業に対する調査費を来年度予算に計上していただくよう要望した。その後、県の庁議において、中央要望事項の重点施策の中に稲戸井調節池問題が取り上げられた。また六月十七日には、建設省の利根川上流工事事務所及び県の方から、取手市と守谷町の関係自治体を含めた促進連絡会を設置してほしいとの申し入れがあった。今後は、この連絡会を通じて、利根川上流工事事務所、県、取手市、守谷町のお互いの接点を見出すべく十分なる話し合いのもとに事業に取り組んでいきたいと考えている。

岡田議員 稲戸井調節池総合開発事業について、その後の経過を伺いたい。

歳時記



『〇〇にかみつかれると、雷が鳴るまで離さない』さて、あなたなら、この〇〇に何と入れますか。ヤモリ、トカゲ、カマキリ、スッポンそれとも？

それが正解ということはありません。全国各地にいろいろな言い伝えがあるのです。それと、雷については一番よく知られているのは腹を出した子供を戒める時に言う「雷がへそを取る」という話。

雷を防ぐ方法についてもいろいろな言い伝えがあります。『桑原、桑原』と唱えるというのはいくつもの人が知っています。一説によると、『桑原』は菅原道真(八四五〜九〇三)の所領であった土地の名で、一度も雷が落ちなかったという言い伝えから、落雷を防ぐ呪文になったといわれます。また、雷は桑の木が嫌いだからとか、大切な桑畑が雷で荒らされないようにという願望らしい、との説もあります。そのほか、カヤの中に入るといとか、年越しの豆を食べると助かるともいわれています。

また、雷が鳴ると稲がよく実るとか、寒中の雷は干ばつの前ぶれというように予言めいた言い伝えもあります。

こうしたことわざや言い伝えの真偽は別として、落雷による被害で昨年も七人(全国)が死亡しています。八月三十日から九月五日までは防災週間です。災害にはいろいろなものがありますが、落雷の被害への認識も新たにし、災害に対する日ごろの備えを強化しましょう。

小郡町

鉄道開通に伴うまちづくり

議員視察研修 (7月10、12日)

昨年七月に運輸政策審議会が答申した常磐新線計画により、守谷町では新線を核とした新しい町づくりをどのように推進していくかが問題となっています。このような状況をふまえ、守谷町議会では、山陽新幹線の開通に合わせて駅前広場を含めた土地画整理事業を進めてきたという山口県小郡町を視察してきましたので報告いたします。

小郡駅南土地画整理事業は

山陽新幹線の開通(昭和五十年三月)に合わせて計画されたもので、昭和四十八年に第一次土地画整理事業(昭和五十二年完了、面積三五・五ヘクタール)が着手され、以降、中国自動車道、流通センターの建設などで、ますます都市化され、それに伴う第二次土地画整理事業(昭和五十五年、六十年、面積二・五ヘクタール)が進行中であり、さらに第三次へと都市計画が進められようとしています。

小郡町は

山口県のほぼ中央の瀬戸内海側に位置し、人口約二万人、面積三三・二平方キロメートルの町です。山陽本線、山口線、宇部線、さらには山陽新幹線の開通により「交通の要衝」といわれ、観光地津和野へのSL発車駅としても知られています。また将来の都市づく



進行中の小郡駅南土地画整理事業

土地利用計画は、将来を

予測した商業地域、住居地域、準工業地域とし、人口密度は第一次地区80人/ha、第二次地区50人/haと想定されている。

道路は、都市計画道路三線を主線とし、合わせて幅員六メートル、十二メートルの区画道路が整備され、中心市街地には四メートル、一〇メートルの歩行者専用道路を設けている。

公園は五箇所で、面積は全体の約三パーセントとなっている。

減歩率は、公共保留地合算減歩率で二六・九パーセントから二九・五九パーセントであり、保留地を二、四〇〇平方メートル確保してある。また、公共用地は町施行で、公共減歩率により駅前広場をはじめ、幹線道路、公園等を計画している。

事業費は、第一次、第二次で三十三億八千八百二十一万八千円を要し、歳入の内訳は、国庫補助金十六億四千九百五十三万七千四百八・七パーセント、保留地処分金六億三千七百九十六万四千八百八・八パーセント、その他管理者負担金、町分担金、国鉄負担金、借入金などである。

土地の価格は、施行前は坪当たり約三万円であったが、現在では二十五万円、七十万円となっている。

第二次地区の整備も終わろうとしている現在、駅前には高層ビルも建設され、機能的なまちづくりがなされている。

○駅前広場
当初の町の要望面積は、一〇、六〇〇平方メートル

であったが、国鉄からは徳山駅、新下関駅が七、二〇〇平方メートルであるため、同面積が提示された。しかし、将来の乗降客等六十四万人の想定により、最終的には九、六〇〇平方メートルとなった。町単独の駅前広場はなく、国鉄と協議決定した面積であり、町の財政負担はない。

また、越谷市については、地下鉄日比谷線、東武線相互乗り入れ、国鉄武蔵野線の開業などにより、首都圏のベッドタウンとして急成長した市であり、この成長する過程において、健全な環境を持つ市街地の造成と公共の福祉増進を目的に進められてきた土地画整理事業について研修してきました。

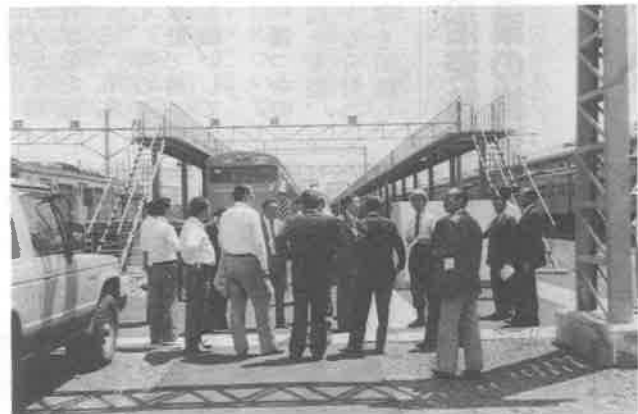
まちづくり対策特別委員会
南古谷車両基地・越谷市を視察

常磐新線建設促進まちづくり対策特別委員会では、

去る七月二十三日、正副議長及び執行部から町長以下関係職員出席のもと、川越市の南古谷車両基地と越谷市を視察してきました。

南古谷車両基地は、埼京線(新宿―大宮)開業、川越線(大宮―高麗川)電化に対応するため、昨年十月に開設されたもので、近隣私鉄以上の効率をあげるべく各種の兼業業務、電子連動、構内無線の導入、近代

的設備の活用等、在来区に先駆けた電車検修基地です。守谷町においても常磐新線の計画に伴い、車両基地の設置が予想されているところであり、この南古谷車両基地開設に向けての位置の選定、用地買収、自治体の負担、基地周辺の道路その他の環境整備、周辺住民との融和、騒音公害等、開設するまでの諸問題について詳細な説明を受けてき



埼京線南古谷車両基地内

海千山千

海と山に関連したことわざには「海と山」「海が山」「海とも山とも知れず」「海千山千」などありますが、それぞれ全くちがった内容です。誤解・誤用のないよう気を付けましょう。



「海と山」は、海之恩と山の恩の意味。「父母之恩は山よりも高く、海よりも深し」ということわざから、「海と山」といえば高く深い

い父母の恩をさします。「海が山」は、海が山になるような無理が行われること。「海と山」とは一字

れます。「海とも山とも知れず」は、海のものか山のものかわからないさま。どちらとも決めかねる場合に用いられる表現です。「海千山千」は「海に千年、山に千年」の略。海や山に千年住んだ大蛇は龍になるという俗信から、経験が豊富で世間の表裏に通じていることをさします。どちらかといえば、食えない人物に使うケースが多く、ほめ言葉とはいえません。



○中坪地区生活道路整備に関する請願(大字板戸井二〇〇〇 寺田典彦氏ほか一七名)

中坪地区内(板戸井)における未整備生活道路の早期整備を願うもの。(採択)

○北団地に地元申請者の幼稚園を誘致するための陳情(久保ヶ丘二丁目五〇名)中村信行氏ほか一五四名)

北団地内幼稚園用地の払い下げ申請のあった二園のうち、双方の教育実態等を調査した審議のもとに地元申請者の幼稚園の誘致を願うもの。(不採択)

○北団地の昭和六十二年度

暑中お見舞い
申し上げます

守 谷 町 議 会

議長	大久保隆司
副議長	豊島 清
議員	寺田 達
	西巻 健治
	松本 明子
	会田 真一
	倉持 洋
	大塚 由男
	大久保 通
	塚原 栄一
	須賀 吉則
	柳生 力
	飯塚 操
	浅野 進
	松丸 照雄
	岡田 光雄
	相良 泰助
	皆川 鉄男
	倉持 和夫
	中村 力